

# Takara standard レンジフード設置説明書

## 設置される方へのお願い

- 設置作業の前にこの説明書をよく読みの上、正しく設置してください。
- 取扱説明書と設置説明書は必ずご使用されるお客様にお渡しください。お渡しできない場合は、お客様のわかりやすい場所に取っておいてください。

## 安全上のご注意

- 設置作業の前に、この設置説明書の安全上のご注意をよく読みの上正しく設置してください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。

### 警告

- 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。
- 誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。

### 注意

- 行為の指示(必ずすること) 必ず実行してください。
- 禁止行為(してはいけないこと) 絶対にしてはください。

## 警告

- 改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理しない。
- 火災、感電、けがの原因となります。

- メタルスズ張り、ワイヤスズ張り、または金属板張りの木造の建造物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズ、ワイヤスズ、金属板とが電気的に接触しないように取付ける。
- 漏電した場合、発火することがあります。

- 交流100V以外では使用しない。火災、感電の原因となります。

- レンジフードおよび排気ダクトから可燃物までの距離は10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う。  
※詳しくは、所轄の消防署へ確認ください。

## 注意

- レンジフードは強度のあるところに、本説明書の設置方法に従って正しく設置する。
- 落下によりけがをすることがあります。

- 電気配線工事は電気工事店に依頼する。(電気設備技術基準や内線規定に従っていることを、電気工事店に確認する。)
- 接続不良や誤った配線工事は、感電や火災のおそれがあります。

- 部品の取付けは確実にを行う。
- 落下によりけがをすることがあります。

- 周囲温度が40℃以上になるには設置しない。
- 火災や故障の原因となります。

- レンジフードや排気ダクトは他の不燃処理されていないものや電気機器と接触させない。
- 故障や誤動作の原因となります。

## 工事区分の確認

- レンジフードの設置作業は、設置前後に大工工事・電気工事・管工事が必要です。事前に工事区分を明確にするために、現場責任者と十分打ち合わせを行ってください。
- 「建設工事」に区分される作業は関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
- 流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。

工事区分	業種区分	建設工事	作業名称(区分)
設置前工事	大工工事	○	設置壁の地下工事等
	管工事	○	ダクト配管等
レンジフード設置	電気工事	○	コンセントや壁スイッチ等の配線・設置
	管工事	○	レンジフードの組立・取付、試運転等
設置後工事	電気工事	○	レンジフードからのダクト接続
		○	コンセント・コネクター利用以外の配線接続

## 設置時のお願い

- レンジフードと加熱機器との離隔距離は消防法などの法令に従ってください。(あまり高くすると吸い込みが悪くなります。)
- ガス湯沸器の真上には取付けないでください。湯沸器はレンジフード側面から50cm以上離して取付けてください。モータの焼損、排ガスによるサビの原因となります。

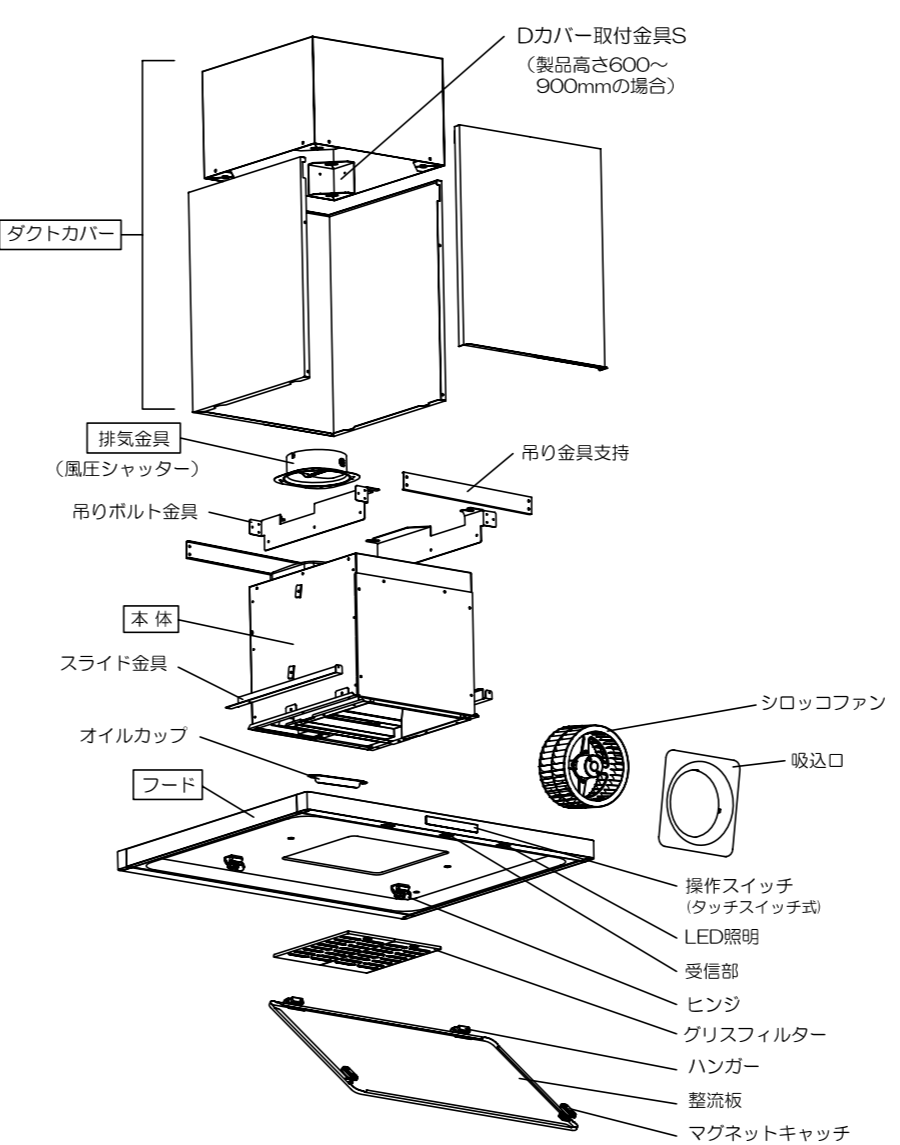
- 適正な居室内静圧になるように空気の取入口を設けてください。開口面積100~150cm<sup>2</sup>が目安となります。
- レンジフードは給気電動シャッター(別売品)と接続して使用することができます。

- 排気効果を著しく低下させたり、騒音の原因となりますので、下記の配管工事はしないでください。
- エアコンなどの風が直接あたらないようにしてください。風を受けるため吸込み低下につながる可能性があります。
- 下記のパイプフード、ベントキャップは使用しないでください。排気効果を低下させる原因となります。
- シロッコファンを取付けずにレンジフードを運転しないでください。モータの不具合および換気性能の低下につながる場合があります。

## 各部の名称

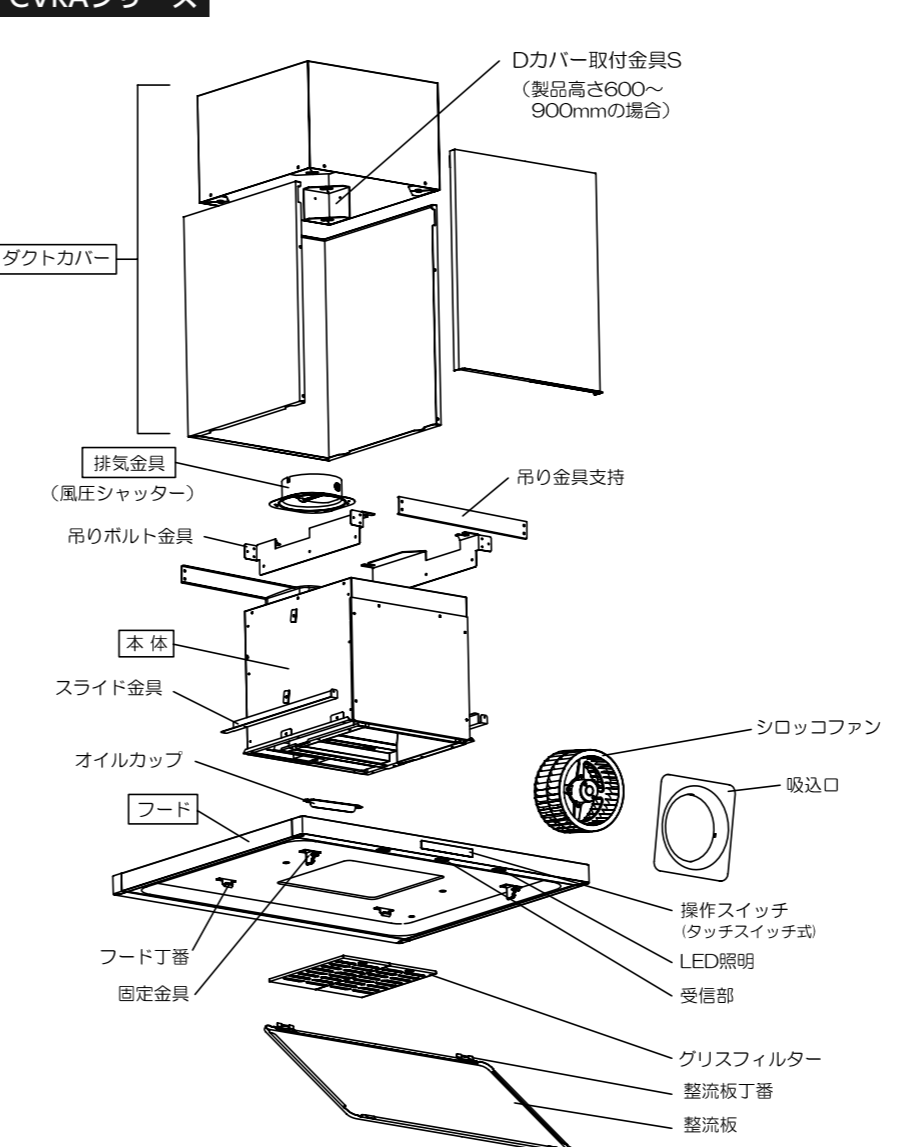
本体、フード、ダクトカバー、金具セットはそれぞれ別梱包です。

### CVRAS-Eシリーズ



製品高さ500~900mmの場合	製品高さ500、510、550mmの場合
<b>ダクトカバー</b> DK90A-CVRA DK90A-CVRA DK70A-CVRA DK90-CVRA DK90-CVRA DK70-CVRA DK90-CVRAT DK90-CVRAT DK70-CVRAT	<b>ダクトカバー</b> DK50A-CVRA DK50-CVRA DK50-CVRAT DK50-CVRAT
<b>金具セット</b> CVRA金具セットA CVRA金具セットAT CVRA金具セットAQ	<b>金具セット</b> CVRA金具セットB CVRA金具セットBT CVRA金具セットBQ
吊りボルト金具(2個) 吊り金具支持(2個) スライド金具(各1個) Dカーブ取付金具S(4個)	吊りボルト金具(2個) 吊り金具支持(2個) スライド金具(各1個) 天井取付金具(2個)

### CVRAシリーズ



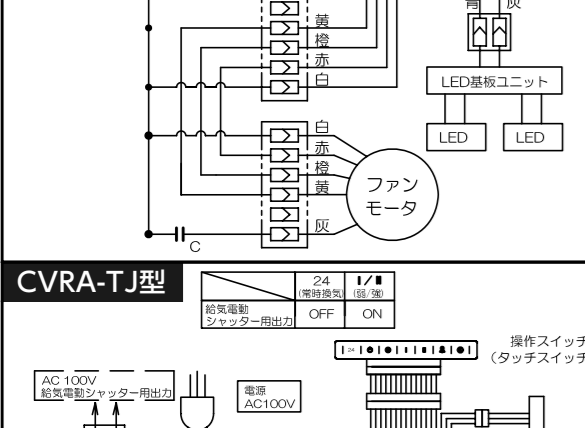
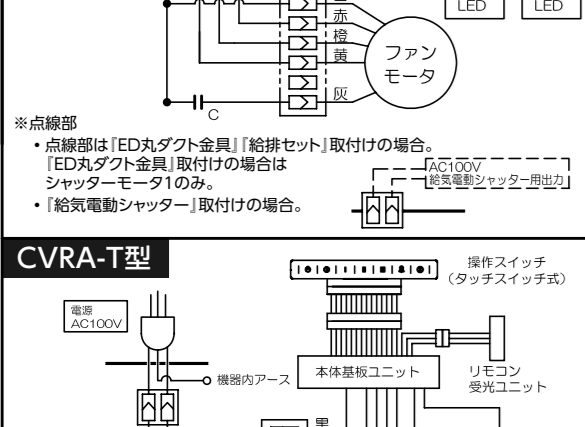
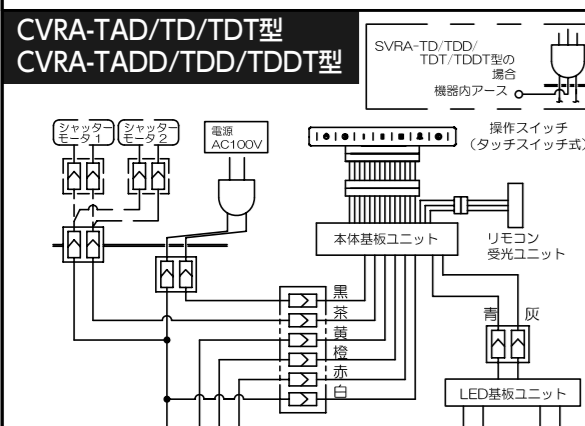
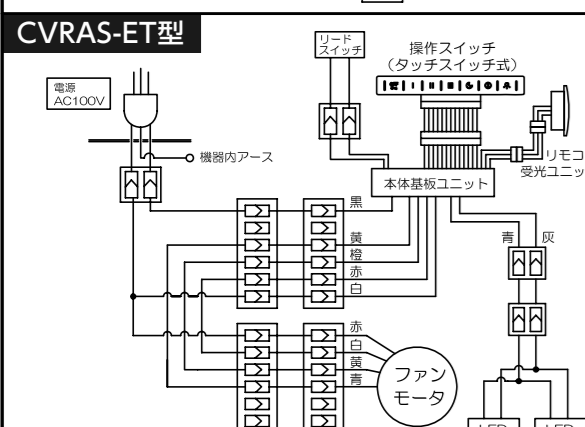
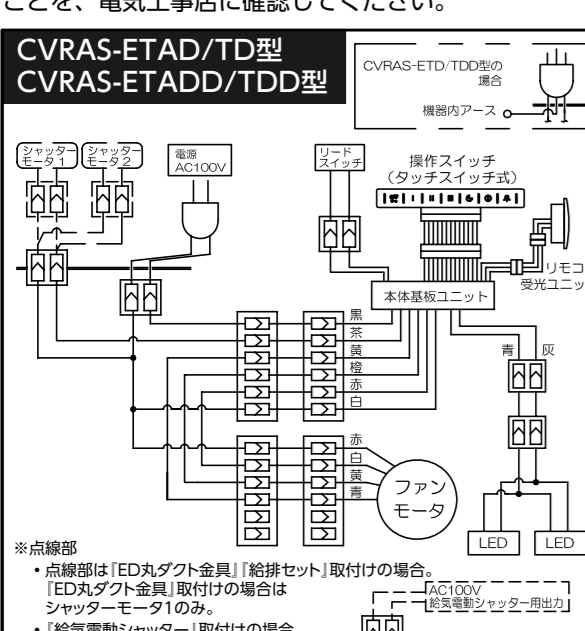
同時給排気タイプ	
<b>ダクトカバー</b> DK90A-CVRA DK90-CVRA DK70A-CVRA DK90-CVRA DK90-CVRA DK70-CVRA DK90-CVRAT DK90-CVRAT DK70-CVRAT	<b>金具セット</b> CVRA金具セットD CVRA金具セットDT CVRA金具セットDQ
吊りボルト金具(2個) 吊り金具支持(1個) スライド金具(2個)	<b>排気金具</b> 絶縁セットSC 絶縁セットSCT 絶縁セットSQ

### ■排気仕様と本体、フード、排気金具、ダクトカバー、金具セットの組合せについて

排気仕様	本体	フード	排気金具	ダクトカバー	金具セット
排気タイプ (風圧シャッター)	FUSC-E3AD N	CVRAS-E902TFAD N	本体付属	DK90A/90A/70A-CVRA	CVRA金具セットA CVRA金具セットAT
	FUSC-3AD N	CVRA-902TFAD N	本体付属	DK50A-CVRA	CVRA金具セットB CVRA金具セットBT
	FUSC-3DT N	CVRA-902TFDT N	本体付属	DK90/80/70-CVRA DK50-CVRA	CVRA金具セットAQ CVRA金具セットBT
常時換気タイプ	FUSC-E3B N	CVRAS-E902TFD N	本体付属	DK90/80/70-CVRA	CVRA金具セットAQ
	FUSC-3B N	CVRA-902TFD N	本体付属	DK55/51/50-CVRA	CVRA金具セットBQ
	FUSC-3BJ N	CVRA-902TFJ N	本体付属	DK55/51/50-CVRA	CVRA金具セットBQ
排気タイプ (電動シャッター)	FUSC-E3AD N	CVRAS-E902TFAD N	EDダクト金具U	DK90A/90A/70A-CVRA	CVRA金具セットA CVRA金具セットAT
	FUSC-3AD N	CVRA-902TFAD N	EDダクト金具U	DK50A-CVRA	CVRA金具セットB CVRA金具セットBT
	FUSC-3DT N	CVRA-902TFDT N	EDダクト金具U	DK90/80/70-CVRA DK50-CVRA	CVRA金具セットAQ CVRA金具セットBT
同時給排気タイプ	FUSC-E3BD N	CVRAS-E902TFD N	EDダクト金具U	DK90/80/70-CVRA DK55/51/50-CVRA	CVRA金具セットAQ CVRA金具セットBQ
	FUSC-E3AD N	CVRAS-E902TFAD N	絶縁セットSC	DK90A/80A/70A-CVRA	CVRA金具セットD
	FUSC-3AD N	CVRA-902TFAD N	絶縁セットSC	DK90A/80A/70A-CVRA	CVRA金具セットDT CVRA金具セットDQ

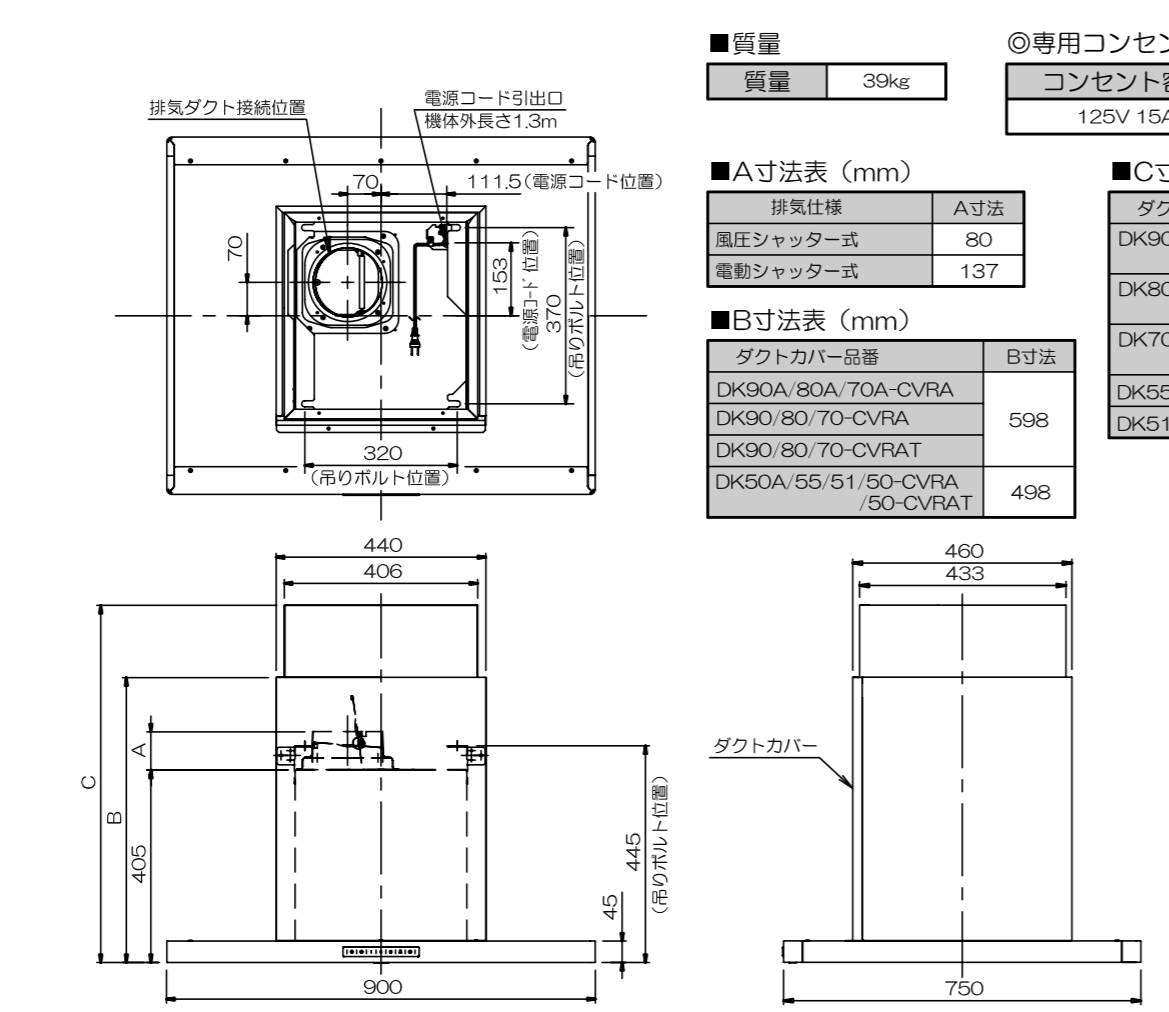
## 配線図

電気工事は電気設備技術基準や内線規定に従っていることを、電気工事店に確認してください。

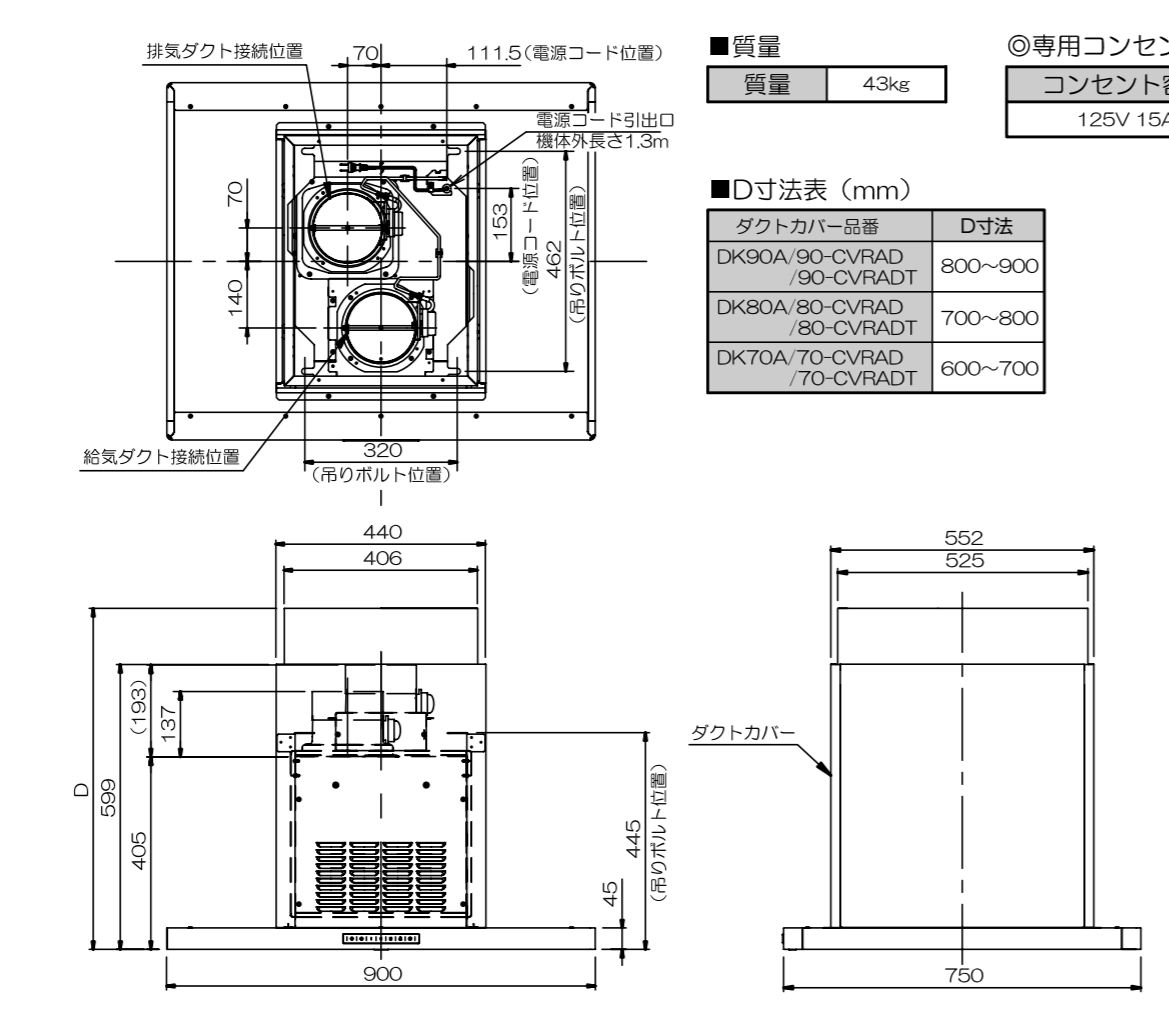


## 製品寸法図

### 排気タイプの場合



### 同時給排気タイプの場合



## 付属部品

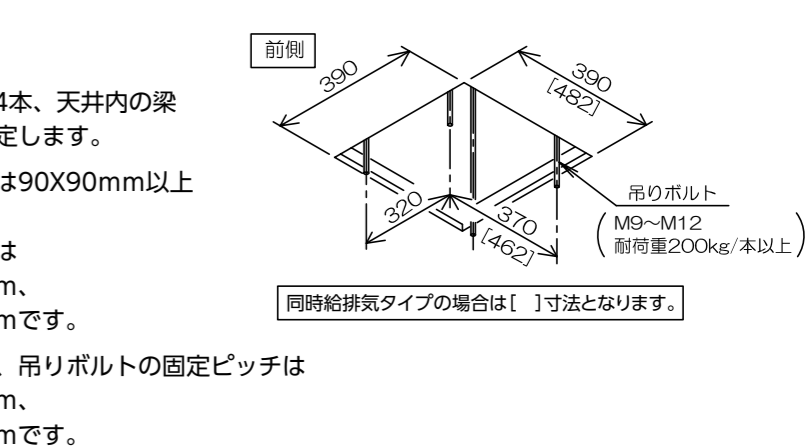
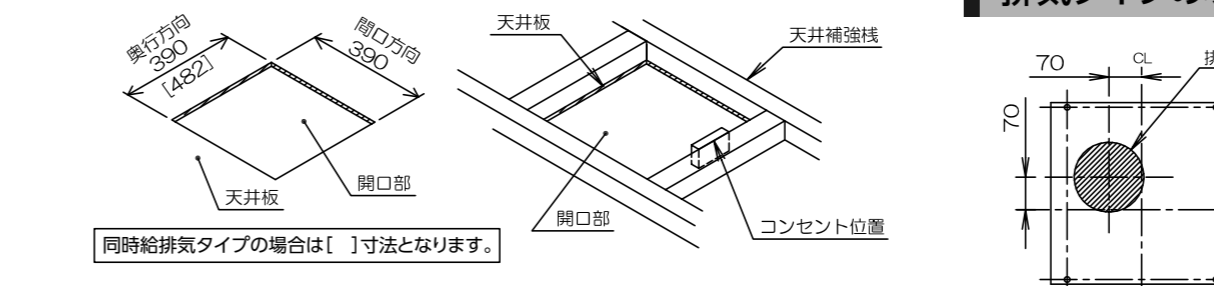
- 排気タイプ
  - 付属ネジ①(4本) 本体取付ネジ×30
  - 付属ネジ②(42本) トラスステップネジ×8
  - 付属ネジ③(2本) 低確ネジ(フラック)
  - 排気金具(1個) ※BD型は付属なし
  - 給気電動シャッター用電動シャッター(別売品) ※CVRA-T型のみ
- 同時給排気タイプ
  - 付属ネジ①(4本) 本体取付ネジ×30
  - 付属ネジ②(50本) トラスステップネジ×8
  - 付属ネジ③(4本) 低確ネジ(フラック)
  - 排気金具(1個) ※BD型は付属なし
  - スボイラー(1本) マグネット付

## 1 取付け前の準備

設置寸法は必ず守ってください。正常にダクトと接続ができなくなり、故障の原因となります。

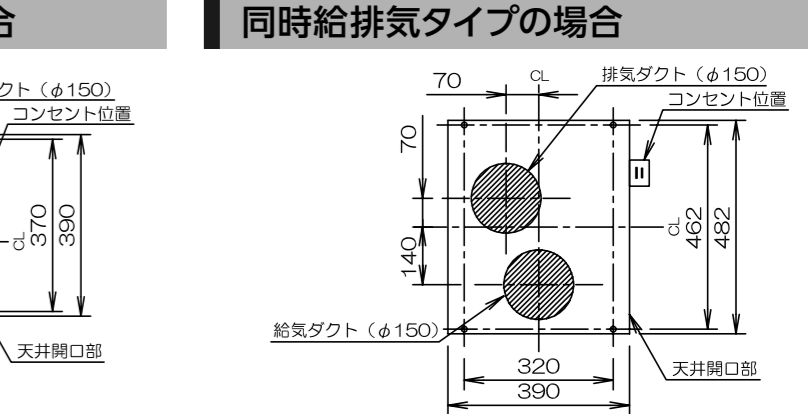
- 製品重量は39~43kgあります。重量に十分耐える取付けを行ってください。
- 補強板を使用する場合は、ホルムアルデヒドなどの放散が少ない材料であることを確認してください。

- 1 取付箇所の強度を確認する  
製品を支える強さが必要です。
- 2 天井面への孔加工をする  
① 図のように、天井面(天井板)の本体を取付ける位置に開口390X奥行390mmの開口を加工する  
同時給排気タイプは開口390X奥行482mmの開口を加工する  
② 開口部の周囲を補強様(60X60mm以上)で補強する  
※補強様は野線・野線受けなどに固定してください。  
③ 開口部の補強様に専用コンセントを設置する



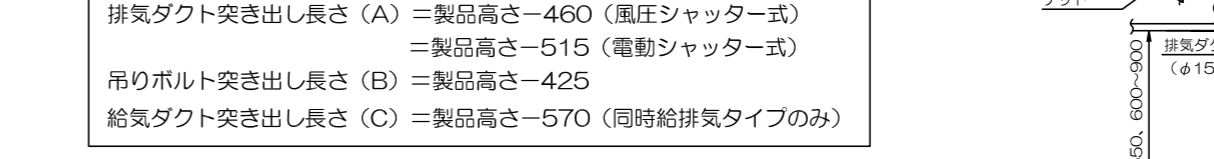
## 2 天井面への孔加工をする

- 吊りボルトについて  
吊りボルトは耐荷重200kg/本以上となるように取付けてください。
- 手配いただくもの  
吊りボルトの他、製品設置用のナット、ワッシャーなどは吊りボルト取付業者の手配となります。  
【1台あたりの必要数量】  
M9-M12ナット 28個 28個  
M9-M12ワッシャー 24個 20個  
M9-M12スプリングワッシャー 12個 12個  
手配するナット、ワッシャーのサイズは統一してください。



## 4 排気ダクトの配管をする

- 図のように、排気ダクト(φ150)を天井面より配管してください。
- 天井面からの排気ダクト突き出し長さ(A)、吊りボルト突き出し長さ(B)、および給気ダクト突き出し長さ(C)は、製品高さにより異なります。下記より算出してください。



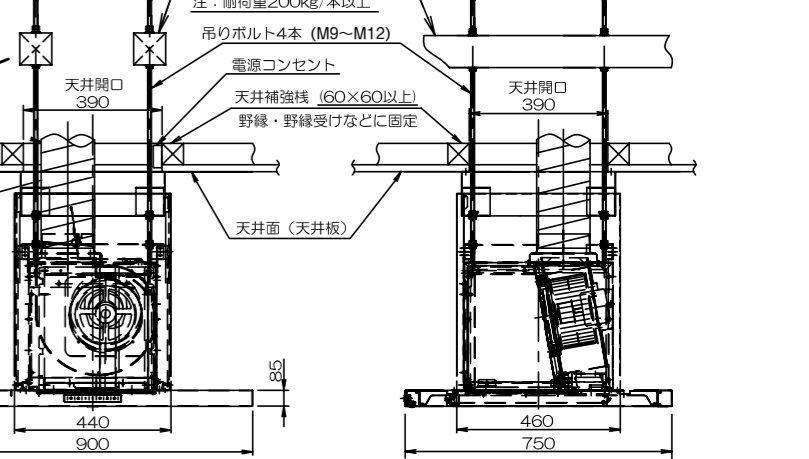
製品高さ	排気ダクト突き出し長さ(A)	吊りボルト突き出し長さ(B)	給気ダクト突き出し長さ(C)
H500	40	115	75
H600	140	85	175
H700	240	185	275
H800	340	285	375
H900	440	385	475

## 3 吊りボルトを取付ける

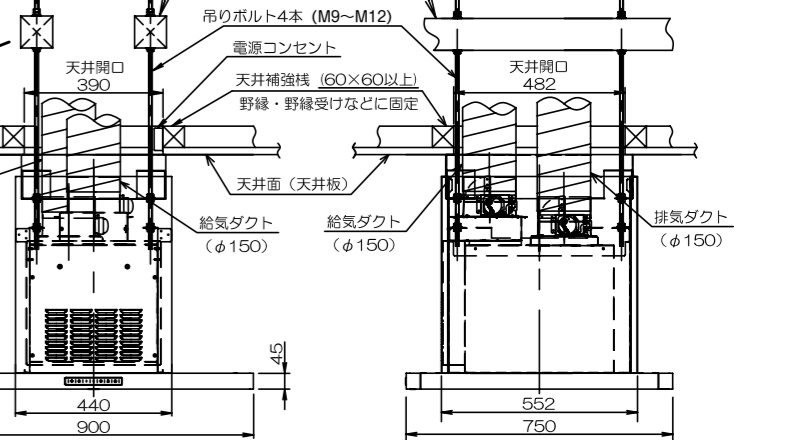
M9-M12の吊りボルトを4本、天井内の梁などの強度のある部分に固定します。

- 吊りボルトを固定する木は90X90mm以上必要です。  
吊りボルトの固定ピッチは左右(開口方向) 320mm、前後(奥行方向) 370mmです。
- 同時給排気タイプの場合、吊りボルトの固定ピッチは左右(開口方向) 320mm、前後(奥行方向) 462mmです。

## 設置状態図(排気タイプ)



## 設置状態図(同時給排気タイプ)



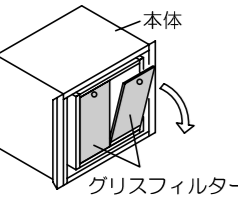
2 フードと本体を組立てる

取付けは付属のネジで確実に行ってください。

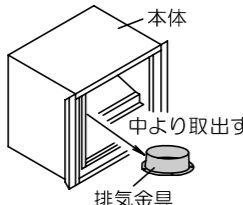
1 本体に排気金具を取付ける

BD型以外の場合

1 本体のグリッスフィルターをはずす



2 本体の中より、排気金具(付属)を取出す



排気タイプの場合

風圧シャッター式の場合

1 排気金具は付属ネジ(4本)を使用して、本体へ取付ける

2 信号線1Nのコネクタ(赤)を本体のコネクタへ、コネクタ(白)を排気金具のコネクタへ接続する

電動シャッター式の場合

1 別売品「ED丸ダクト金具U」または「ED丸ダクト金具FU」を使用します。

2 信号線1Nのコネクタ(赤)を本体のコネクタへ、コネクタ(白)を排気金具のコネクタへ接続する

3 ワイヤークランプは本体の適当な場所に貼付け、信号線1Nを固定する

同時給排気タイプの場合

1 排気金具は付属ネジ(4本)を使用して、本体へ取付ける

2 信号線2Nのコネクタ(赤)を本体のコネクタへ、コネクタ(白)を給気ユニット・排気金具のコネクタへ接続する

3 ワイヤークランプは本体の適当な場所に貼付け、信号線2Nを固定する

2 給気ユニットを付属ネジ(4本)を使用して、本体へ取付ける

2 信号線2Nのコネクタ(赤)を本体のコネクタへ、コネクタ(白)を給気ユニット・排気金具のコネクタへ接続する

2 本体に吊りボルト金具を取付ける

1 本体の図の位置のネジ(左右3箇箇所)をはずす

2 はずしたネジを使用して、吊りボルト金具を図のように取付ける

3 フードの整流板をはずす

1 図のように両手で整流板をしっかりと支える

2 整流板のマグネットキャッチをレンジフード内側からはずす

3 整流板を両手で支え、ゆっくり開く

同時給排気タイプの場合

1 図のように両手で整流板をしっかりと支える

2 整流板のマグネットキャッチをレンジフード内側からはずす

3 整流板を両手で支え、ゆっくり開く

4 右図を参照し、以下の手順で整流板をはずす

- 1. 整流板を開ける
2. アームを右にまわす
3. 整流板を両手で持ち、手前に引く

5 図のように両手で整流板をしっかりと支える

6 整流板のマグネットキャッチをレンジフード内側からはずす

7 整流板を両手で支え、ゆっくり開く

4 フード内面パネルをはずす

1 下図のネジをはずす

2 フード内面パネルを両手で支え、ゆっくり開いてはずす

同時給排気タイプの場合

1 図のように両手で整流板をしっかりと支える

2 整流板のマグネットキャッチをレンジフード内側からはずす

3 整流板を両手で支え、ゆっくり開く

4 整流板を本体下からはずす

3 本体を取付ける

1 レンジフードの取付位置を決める

2 調整Dカバー、Dカバー取付金具Sなどを取付ける

同時給排気タイプの場合

1 図を参照して次式により、マーカ位置(X)の値を算出する

2 吊りボルトを天井からXの値の位置にマジックなどでマーカをつける

8 前幕カバーを取付ける

1 本体のネジ(4本)をはずす

2 カバーを本体に固定する

3 カバーを給気ユニットに固定する

9 ダクトカバーを取付ける

1 ダクトカバー取付金具を壁へ取付ける

2 同時給排気タイプの場合

同時給排気タイプの場合

1 Dカバー横の切欠き部を上側に、本体側から取付ける

2 Dカバー横はスライド金具Dの上に載せてください

3 Dカバー横の前面は吊りボルト金具D、スライド金具Dよりも前に出してください

同時給排気タイプの場合

1 Dカバー横の切欠き部を上側に、本体側から取付ける

2 Dカバー横はスライド金具Dの上に載せてください

3 Dカバー横の前面は吊りボルト金具D、スライド金具Dよりも前に出してください

4 給気電動シャッターを接続する

1 レンジフードと給気電動シャッターを連動して使用することができます

2 給気電動シャッター側の配線の設置および接続は、電気工事士などの有資格者に依頼してください

3 給気電動シャッター側の配線が設置済み場合は、電気設備技術基準や内閣規定に従って確認してください

4 詳細は給気電動シャッター(別売品)の説明書をご覧ください

1 給気電動シャッター用運動コードをレンジフードへ接続する

2 給気電動シャッター用運動コードと給気電動シャッター側の配線を接続する

3 給気電動シャッター用運動コードは、屋内配線に使用しないでください

4 給気電動シャッター用運動コードは、設置後に点検可能な範囲で使用してください

5 電源を接続する

電気工事は電気工事に依頼してください

1 レンジフードの電源プラグをコンセントに差し込む

2 コンセントは専用のものを使用してください

6 排気ダクトを接続する

ダクト接続をする場合、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って有資格者が行ってください

1 ダクト接続部をアルミテープなどでテーピングする

2 ダクト接続部をアルミテープなどでテーピングする

7 フードを取付ける

取付けは付属のネジで確実に行ってください

1 フードを取付ける

2 コネクタを接続する

1 コードクランプのツメを押して開く

2 コードクランプをフード側配線のチューブを固定する

3 フード側配線のコネクタ(15P)※と3P)を本体側配線のコネクタに接続する

4 コードクランプのツメを押して開く

5 フード側配線のコネクタ(2P)を本体側配線のコネクタに接続する

6 フード側配線のコネクタ(15P)※と3P)を本体側配線のコネクタに接続する

7 フード側配線のコネクタ(2P)を本体側配線のコネクタに接続する

8 フード側配線のコネクタ(15P)※と3P)を本体側配線のコネクタに接続する

9 フード側配線のコネクタ(2P)を本体側配線のコネクタに接続する

10 フード側配線のコネクタ(15P)※と3P)を本体側配線のコネクタに接続する

11 フード側配線のコネクタ(2P)を本体側配線のコネクタに接続する

12 フード側配線のコネクタ(15P)※と3P)を本体側配線のコネクタに接続する

13 フード側配線のコネクタ(2P)を本体側配線のコネクタに接続する

14 フード側配線のコネクタ(15P)※と3P)を本体側配線のコネクタに接続する

15 フード側配線のコネクタ(2P)を本体側配線のコネクタに接続する

10 整流板を取付ける

1 グリッスフィルターを取付ける

2 整流板をフードに取付ける

同時給排気タイプの場合

1 右図を参照し、以下の手順で整流板を取付ける

2 整流板を両手で持ち、ゆっくり持ち上げて整流板のマグネットキャッチをレンジフード内側に吸着させる

3 整流板を両手で支え、ゆっくり回して固定金具に取付ける

同時給排気タイプのみ

1 スポイラーをマグネットの面を下にしてフードの上面に取付ける

2 スポイラーを取付ける際は、スポイラーの向きに注意してください

3 スポイラーの立ち上がり部分が前面になるように取付けてください

12 試運転

1 操作スイッチで動作確認をしてください

2 本体、フード、各部分の取付けが確実に揺動や異音がないか確認してください

9 ダクトカバーを取付ける

1 本体のネジ(4本)をはずす

2 カバーを本体に固定する

3 カバーを給気ユニットに固定する

10 整流板を取付ける

1 グリッスフィルターを取付ける

2 整流板をフードに取付ける

同時給排気タイプの場合

1 右図を参照し、以下の手順で整流板を取付ける

2 整流板を両手で持ち、ハンガーを軸に挿入する

3 アームを右にまわす

4 整流板を開める

5 整流板を両手で持ち、ゆっくり持ち上げて整流板のマグネットキャッチをレンジフード内側に吸着させる

同時給排気タイプの場合

1 右図のように整流板を本体下へ取付ける

2 整流板を両手で支え、ゆっくり回して固定金具に取付ける

3 整流板(裏面)にはめ込んでいる金具ははずさないでください

4 スポイラーが確実に固定されていることを確認してください

5 片手で整流板の中央を持ち、軽く下へ引張り、はずれないことを確認してください

同時給排気タイプのみ

1 スポイラーをマグネットの面を下にしてフードの上面に取付ける

2 スポイラーを取付ける際は、スポイラーの向きに注意してください

3 スポイラーの立ち上がり部分が前面になるように取付けてください